

平間小学校 出前授業 報告書

本授業は「床ワックスをリサイクルする会」の活動の一環として、SDGsやリサイクルをテーマに、児童が楽しみながらSDGsへの理解を深めてもらうことを目的に実施しました。

- 実施日：2026年1月17日（土）
- 時間：9:55～10:55
- 実施場所：川崎市立平間小学校
- 対象：3年1組 30名程度

廃液の活用から学ぶSDGs

授業ではSDGsをテーマに、まず南武線の床ワックス清掃での環境への取り組みを紹介しました。その際に出た廃液を使った濾過実験を行い、汚れを取り除く仕組みを観察しながら、「すぐに捨てるのではなく工夫することで環境に優しくなる」というSDGsの考え方を伝えました。濾過の作業は児童が主体で行い、目で結果を確認することで、資源を大切にすることの意味を実感してもらいました。



体験で学ぶ環境配慮と災害への備え

濾過実験のあと、出た廃棄物を活用した非常用トイレの活用方法を学ぶ凝集体験を行いました。児童は麦茶を排泄物に見立て、容器に凝固剤を入れて固める体験をし、凝固剤の使い方や消臭の仕組みも丁寧に説明しました。作業は児童が中心で行い、体験を通して、廃棄物を工夫して活用することや、災害時の備え、環境への配慮について考える機会となりました。



生徒たちの声と授業の様子

授業中、生徒たちは目の前で起こる変化に驚きながら、楽しそうに実験に取り組んでいました。「すごい！きれいになった！」「ちゃんと固まった！」といった声も聞かれ、実験を通じて学びを身近に感じている様子がうかがえました。グループで協力しながら作業する姿も見られ、教室全体が活気にあふれた時間となりました。



平間SDGs フェス概要

平間小学校では、毎年「平間SDGsフェス」が開催され、2019年より児童・教職員に加え、PTA、地域、企業などが連携し、SDGs達成に向けた取り組みを継続しています。これらの活動は高く評価され、昨年「第15回ESD大賞」において文部科学大臣賞を受賞しています。当日は、児童による学習成果の発表に加え、かわさきSDGsパートナーを含む企業・団体による出前授業やブース出展が行われ、30以上の企業・団体が参加する、立場や世代を超えて学び合う場となりました。

